

むすびつながる読書指導

出水市立野田中学校
教諭 若松 智仁

1 『鹿児島県の公共図書館』

公立図書館の活用状況調査を閲覧することができます。

2 もくじ

(1) 2020 年の状況





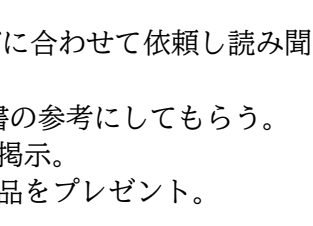
○ 何をどのように活動し、呼びかければ状況を打破できるのか。

(2) 2020 年 課題克服への挑戦

○ 野田中学校挑戦の始まり。

(3) 2020 年～2025 年 様々な実践

活動名・活動内容	活動の様子など(抜粋)
1 読書推進掲示 公立野田図書館のロビーに掲示する。	
2 リモートブックトーク 野田小学校へリモートでブックトークを届ける。	
3 リモートビブリオバトル 野田小学校と野田中学校をつないでビブリオバトルを実施。チャンプ本を決定。	
4 しおり総選挙 生徒がしおりを作り、投票して上位作品は読書旬間に配布。	
5 読書郵便 野田小学校とお勧めの本を紹介する手紙の交換をする。	
6 読書みくじ おすすめ本と運勢の書いたくじを引いて、その本をかりる。	
7 拡大読み聞かせ プロジェクトで拡大して広い空間で後ろまで見えるように読み聞かせをする。	
8 来館チェック表 いつだれが図書館に来館したかを記録し、少ない人に声掛けする指標とする。	
9 読書記録カード 毎日の読書の経過を記録し、自分の読書遍歴をとらえる。また、その交流をすることで、お互いにおすすめ本の情報交換をする。	
10 ひとことPOP 毎学期一枚、おすすめの本のミニポップを作る。継続6年目。図書館には1,000枚を超えるポップがひしめいている。	
11 読書回覧 保護者に、本と感想用紙を回覧し、感想を共有する。	
12 読書福袋 最初の一行が書かれた福袋を作成。中には読了後の感想用紙を入れており、読書の輪を広げる。	

13 おすすめ 100 選 今、中学生に読んでほしい、読んだ方がいい本を全員で出し合い、100 冊の一覧票を作成しました。	
14 図書館訪問 学期に一回、国語の授業時間に校区内にある出水市立野田図書館に行って本をかります。	14 
15 読書駅伝 一冊の本をタスキとして、読み終わったら次の人に渡してチーム全員が読み終わったらゴールです。	
16 読書イントロクイズ 給食の放送で本の冒頭を読んで、昼休みに図書館で正解を出せたらオリジナルしおりをプレゼント。	15 
17 移動図書館 忙しくて図書館に来れない人の為、貸し出しに必要な準備をして図書館がみんなのそばにやってきます。	
18 不登校生の目標達成 真の目標達成は、不登校傾向の生徒も達成して初めて実現できます。日々担任の先生と連携を取りながら奮闘中です。	16 
その他の活動 <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア読み聞かせ：ボランティアグループに行事などに合わせて依頼し読み聞かせをしていただく。 ○ 帯読み：帯を展示し、「読みたい！」気持ちに呼びかけ、選書の参考にしてもらう。 ○ ノダスタグラム：インスタグラムの投稿を模した本の紹介を掲示。 ○ 読書ビンゴ：分類番号でビンゴカードを作成。そろったら景品をプレゼント。 ○ 放送読み聞かせ：給食時間の放送で読み聞かせをする。 ○ 本の紹介ムービーの配布：30 秒から 90 秒の紹介動画を撮影・編集し、一人一台端末にて配布する。 ○ おはなしづくり：著者の思いに迫る一番の近道は、自分でもお話を書くこと!! 	

(4) 読書指導担当者としての関わり

- 協力体制の構築，まかせっきりにならない読書指導。

(5) 大切なこと

- 目標に到達できないのはなぜか。

(6) まとめ

- | | |
|--------------|-----------------|
| ○ できる活動を継続する | ○ 継続できる活動に変える |
| ○ 考えは即実行 | ○ 周りを巻き込む |
| ○ 当たり前にする | ○ 取り組めない子を後押しする |

※ 実践発表をご覧いただいたのち、アンケートにご回答ください。無記名で、回答者はこちらに分かりません。質問は 10、解答時間は 2 分程度です。

(右 QR コードを読み取ると Google フォームが開きます)

